



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第132号 R7. 2. 18

大阪大学外国人留学生との国際理解学習（12月6日実施） ～「グローバル人材の育成」東能勢小中学校9年生の実践～

東能勢小中学校9年生が大阪大学の外国人留学生4名と国際理解学習を行いました。最初は、留学生も中学生も緊張気味でしたが、英語でのビンゴゲーム、豊能町の紹介や留学生の出身国・地域の紹介で話が弾み始めると和やかな雰囲気となってきました。中学生は、用意した原稿を見ないで一生懸命に豊能町の紹介をすることができました。中学生が地元のおいしいお店を紹介すると、留学生の関心を集め、帰りに留学生が立ち寄っていました。

自信をもって英語で豊能町のことを発信することができる、頼もしい中学生の姿が見られました。



フィンランド、インドネシア、台湾、イギリスからの留学生の自己紹介



留学生のプレゼンテーション

令和8年4月開校 義務教育学校 「新標準服」及び「新体操服等」の着用について

令和8年4月開校「とよの東学園（仮称）」「とよの西学園（仮称）」の新標準服及び新体操服等の着用につきまして、豊能町ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

「新標準服」・・・保幼小中一貫教育だより「豊能の風」NO.113
https://www.town.toyono.osaka.jp/data/doc/1710234632_doc_100_0.pdf

「新体操服等」・・・保幼小中一貫教育だより「豊能の風」NO.114
https://www.town.toyono.osaka.jp/data/doc/1710310663_doc_100_0.pdf

公益財団法人オイスカ研修生との交流（1月28日実施） ～「グローバル人材の育成」吉川小学校の実践～

吉川小学校全校児童と公益財団法人オイスカの研修生7名との交流会が行われました。

第1部は体育館で行われ、はじめに研修生の方々が、出身地のフィリピン北部ルソン島アブラ州の踊りである“鳥のダンス”を披露してくださいました。その後に、研修生と児童が輪になって、みんなで“鳥のダンス”を踊りました。それから、研修生のお気に入りの日本の歌、kiroro「未来へ」をみんなで歌いました。

第2部では、低学年（1・2年）、中学年（3・4年）、高学年（5・6年）に研修生が分かれ、交流を行いました。低学年では、昔遊び体験、中学年ではインタビューとクイズ、高学年ではおにごっこをして楽しみました。

児童の印象に残ったのは、研修生と一緒に踊った“鳥のダンス”だったようです。楽しい時間は経過するのが早く、子どもたちは分かれを惜しみながら、研修生をお見送りしました。



研修生が披露くださった“鳥のダンス”。初めて見るフィリピンのダンスに見入っていました。



輪になってみんなで一緒に“鳥のダンス”を楽しく踊りました。



児童と研修生と一緒に「未来へ」を合唱しました。



【低学年】～昔遊び～けん玉、だるま落とし、お手玉などをして遊びました。けん玉は、難しかったようです。



【中学年】～研修生クイズ～研修生にインタビューをしてクイズを作成しました。研修生の好きなフルーツは「りんごとみかん」でした。



【高学年】～おにごっこ～「けいさつ」と「どろぼう」のチームに分かれて行うおにごっこをしました。